

こども分科会

かがっこ応援プロジェクト2023

事業全体の内容

【事業の目的】

子どもの成長を切れ目なく支える体制づくりと、妊娠期から子育て期のすべての家族が安心して子育てできる相談支援体制を充実させ、魅力と特色ある幼児教育を推進する。

【概要】

- 1 事業年度 令和5年度
- 2 総事業費 102,703千円
- 3 事業内容

かがっこ応援プロジェクト2023

人への投資

脱・孤育て

1 出産前からの伴走型支援

妊娠初期から産前・出産・産後のニーズに寄り添い、母子とその家族が健やかに生活できる支援体制を充実

経済支援

2 養育コストの軽減

すべての子育て家庭が安心して出産、子育てできる手厚い経済的支援の充実

主体性を育む

3 先進的保育・教育

子どもが主体的に活動し、それぞれの個性を引き出す教育・保育の充実



- 4 財源内訳
(個別事業の内容を参照)

事業全体のイメージ

1 伴走型相談支援事業

新規	① 子育て寄り添いおむつ事業	10,560千円
新規	② 医療機関委託健診事業	1,981千円
	③ 子育て応援ｽｰｼﾞﾝｸﾞ窓改修事業	15,900千円
新規	④ 妊娠期からの子育て世帯への応援交付金事業	39,460千円
拡充	⑤ 不妊治療費助成事業	8,500千円
新規	⑥ ヤングケアラー支援事業	2,434千円

2 養育コストの軽減

拡充	第2子保育料無償化事業	9,574千円
----	-------------	---------

3 先進的保育・教育

新規	幼児教育の質向上事業	14,294千円
----	------------	----------

かがっこ応援プロジェクト2023

事業の内容（個別）

(1)① 伴走型相談支援事業 出産準備パッケージ (子育て寄り添いおむつ事業) 新規

【事業の目的】

地域の社会資源の活用や地域の人材による支援で、地域全体で子育て家庭を支える加賀市版伴走型相談支援体制の更なる充実を図る。

【令和5年度 事業の概要】

- 1 事業費 10,560千円
- 2 事業内容
(1)委託料 10,560千円
- 3 財源内訳

国（子ども・子育て交付金（利用者支援事業） 2/3） （人件費にかかる費用分）	2,463千円
国（母子保健衛生費国庫補助金 1/2） （おむつにかかる費用分）	2,601千円
県（子ども・子育て交付金（利用者支援事業） 1/6） （人件費にかかる費用分）	615千円
市（一般財源）	4,881千円

事業のイメージ（個別）

【伴走型相談支援事業（子育て寄り添いおむつ事業）内容】

- 1 事業内容（保育士による継続した相談支援は**県内初**）
産婦家庭に対して保育士等の支援員による月1回の相談支援に合わせておむつ等の配布を行う。
産婦の時期から地域の子育てに関する社会資源に行き来することで、孤立防止と場所や活動を知る機会とする。
 - (1) 対象者 生後3か月～12か月までの乳児を持つ家庭
 - (2) 委託先 加賀市社会福祉協議会
 - (3) 相談受付・育児用品受取場所 市内児童センター6か所

***子育て寄り添いおむつ事業**
児童センター等で保育士等による月1回の相談支援に併せておむつ等用品のお渡し



かがっこ応援プロジェクト2023

事業の内容（個別）

② 伴走型相談支援事業 出産準備パッケージ （医療機関委託健診事業）

新規

【事業の目的】

妊娠初期から産後に妊産婦が相談しやすい体制を整え、妊産婦のニーズに応じたタイムリーな支援の充実を図る。

【令和5年度 事業の概要】

- 1 事業費 1,981千円
- 2 事業内容
 - (1)妊婦の初回産科受診料の助成 121千円
 - (2)妊産婦健診の交通費助成 180千円
 - (3)産婦健康診査（2週間）の公費助成 1,680千円
- 3 財源内訳

事業費	
国（母子保健衛生費国庫補助金 1/2 ※上限あり）	
(1)	60千円
(2)	90千円
(3)	840千円
市（一般財源）	
(1)	61千円
(2)	90千円
(3)	840千円

事業のイメージ（個別）

【伴走型相談支援事業（医療機関委託健診事業）内容】

1 事業内容

- (1)産婦健康診査（2週間）の公費助成実施
 - ・産後うつ増加（R3年度の加賀市の産後うつ疑いの割合9.9%）の抑制と早期支援のため、従来実施している産後1か月の健診に加え産後2週間時の健診費用の助成を行う。
- (2) 妊婦の初回産科受診料の助成
 - ・経済的事情等のある妊婦に対し、初回産科受診料の助成を行う。
- (3)妊産婦健診の交通費助成
 - ・経済的事情等により交通の確保が困難な妊産婦に対し、妊産婦健診を受診する際のタクシー代の一部の助成を行う。



かがっこ応援プロジェクト2023

事業の内容（個別）

③ 子育て応援ステーション窓口改修事業

【事業の目的】

市民により相談しやすい環境を提供するため、子育て応援ステーションの窓口カウンターを明るくオープンに改修する。

【令和5年度 事業の概要】

1 事業費	15,900千円
2 事業内容	
(1)窓口改修にかかる委託料	15,900千円
3 財源内訳	
(1)事業費	
国（子育て支援対策臨時特例交付金 9/10）	14,310千円
市債	1,200千円
市（一般財源 1/10）	390千円



事業の内容（個別）

出産準備パッケージ

④ 妊娠期からの子育て世帯への応援交付金事業

新規

【事業の目的】

核家族化が進み、地域とのつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を充実させる「出産・子育て応援交付金事業」として、妊娠届出や出産届出を行った妊産婦等に対し給付金を支給する。

【令和5年度 事業の概要】

1 事業費	39,460千円
2 事業内容	
(1)事業費	34,500千円
(2)事務費	4,960千円
3 財源内訳	
(1)事業費	
国（出産・子育て応援交付金 2/3）	23,000千円
県（県費 1/6）	5,750千円
市（一般財源 1/6）	5,750千円
(2)事務費	
国（出産・子育て応援交付金 1/2）	2,480千円
県（県費 1/4）	1,240千円
市（一般財源 1/4）	1,240千円

かがっこ応援プロジェクト2023

事業のイメージ（個別）

妊娠期から子育て期の切れ目のない支援 ～伴走型支援の充実について(令和5年度)～

加賀市の伴走型相談支援と経済的支援：妊娠初期から産後に妊産婦が相談しやすい体制として市独自の経済的支援(*)も新たに取り入れ、妊産婦のニーズに応じた専門職によるタイムリーな支援の充実を図る。



かがっこ応援プロジェクト2023

事業の内容（個別）

⑥ ヤングケアラー支援事業

新規

【事業の目的】

ヤングケアラーが、個人として尊重され、心身の健やかな成長および自立が図られるよう、教育、福祉分野等と連携し適切に支援していくために、ヤングケアラーの支援に関する事業を総合的かつ計画的に推進する。

【令和5年度 事業の概要】

- 1 事業費 2,434千円
 - 2 事業内容
 - (1)周知啓発のための講演会・研修会の開催 574千円
 - (2)学校、福祉部局とのヤングケアラー等の情報の一元管理のための体制づくり 1,860千円
 - 3 財源内訳
 - (1)事業費
- | | |
|----------------------------|---------|
| 国（児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金 1/2） | 930千円 |
| 市（一般財源） | 1,504千円 |

事業のイメージ（個別）

【ヤングケアラー支援事業内容】

1 事業内容

- ①ヤングケアラー相談窓口の設置（子育て応援ステーション）
 - ・ヤングケアラーコーディネーターを配置し、福祉部局、学校現場も含めた教育部局、地域をつなぎ個別ケース支援を強化する。
- ②教育現場での早期発見のための実態把握（教育委員会）
 - ・各学校で行う生活調査で把握した児童生徒に対し学校での個別面談と、家庭への支援が必要な場合は、子育て応援ステーションにつなぎ早期支援を行う。
- ③周知啓発のための講演会・研修会の開催
 - ・学校現場、福祉関係者、民生委員や市民への研修会
- ④学校、福祉部局との情報の一元管理のための体制づくり

【ヤングケアラー】



「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っているおおむね18歳未満の子どものこと。

かがっこ応援プロジェクト2023

事業の内容（個別）

(2)①第2子保育料無償化事業

拡充

【事業の目的】

第2子以降の保育料を無償化（所得制限なし）し、子育て家庭が更に安心して出産、子育てできる経済的支援を充実させる。

【令和5年度 事業の概要】

1 事業費	9,574千円
2 事業内容	
(1)利用者負担額の軽減	9,574千円
3 財源内訳	
市（一般財源）	9,574千円

事業のイメージ（個別）

家計にやさしく

【～R4年度】

保育料軽減

第1子軽減

低所得のひとり親世帯など→半額など
さらに
・3歳児クラスから5歳児クラスの子→無料
・0歳児クラスから2歳児クラスの住民税非課税世帯の子→無料

第2子軽減

- ① 同時入園→無料
- ② 低所得世帯→無料
- ③ 兄弟がいる世帯→半額

第3子以降
無料

【R5年度～】

第1子軽減

低所得のひとり親世帯など→半額など
さらに
・3歳児クラスから5歳児クラスの子→無料
・0歳児クラスから2歳児クラスの住民税非課税世帯の子→無料

県内市初
第2子以降 無料
(所得制限 なし)

かがっこ応援プロジェクト2023

事業の内容（個別）

(3) 幼児教育の質向上事業

新規

【事業の目的】

子どもが主体的に活動し、それぞれの個性を引き出す保育・教育を推進する。

実施にあたっては、well-beingを実現する「学校教育ビジョン」とも連携し、レッジョ・エミリア・アプローチを活用するなど、幼児期の学びの芽生えを就学後につなげられる体制を整備する。

【令和5年度 事業の概要】

- 1 事業費 14,294千円
- 2 事業内容
 - (1)研修費(報償費、旅費) 334千円
 - (2)委託費 13,750千円
 - (3)諸経費 210千円
- 3 財源内訳
市（一般財源） 14,294千円

事業の内容（個別）

<保育の質の向上のための構想策定・研修>

1. 基本構想の策定（～2024年）
 - ①市内各保育園における「特色ある保育・教育」導入推進プラン
 - ②「特色ある保育・教育」にかかる全体研修
2. 保育園での「特色ある保育・教育」の試行
 - ①アトリエリスタ（芸術専門家）、ペダゴジスタ（教育専門家）などによるサポート

<保育園と小学校との円滑な接続>

- 1.（仮称）幼保小連携協議会の設置
合同研修会、職員交流、パンフレット作成 など

特色ある保育・教育の推進に向けて

大学・研究機関等

指導・助言
連携・協力

保育園

求められる課題解決

- a. 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で達成感を味わいながら、全ての幼児が健やかに育つことができる
- b. 幼児の直接的・具体的な体験を更に豊かにするための工夫をしながらICTを活用
- c. 特別な配慮を必要とする幼児への支援
- d. 小学校との円滑な接続

子どもの主体的な学びに
寄り添う保育・教育の実践
子どもの学びに寄り添い
想像力・創造性を
育む幼児教育
コミュニティの中で子ども
自らが主体的に学ぶ、豊かな
保育

スムーズな
保小接続の推進
● 保小連絡協議会（仮称）
の開催
● 保小校区連絡会
● 保小合同研修会
● パンフレットの共同編集

小学校・中学校

4つのプロジェクトの始動

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの実施
- ② 不登校の子どもの支援拠点と支援体制の整備
- ③ 小中一貫したSTEAM教育の推進
- ④ コミュニティスクール化、学校部活動の地域移行

子どもが主体的に活動し、
それぞれの個性を引き出す保育・教育を推進